

一般質問

国民健康保険の窓口負担(一部負担金)減免制度で改善を約束!

上田さち子議員は、国民健康保険の一部負担金（窓口で支払う3割負担金）の減免制度の「活用」を求めて質問しました。

これは年金等が少なく生活困窮の被保険者が、医療を受けられない事態をなくすための制度で、市の要綱では生活保護基準の130%未満の収入（所得）で「療養期間が3ヶ月間の見込み」の方が申請できるとしています。

しかし、実際の運用は①災害など一時的な生活困窮であること②3ヶ月以内に治療完治できる場合となっていることから「要綱違反だ」と改善を求めました。

市は、パンフレットなどの記述はすべて「要綱の表現に統一する」と改善を約束、市民に周知を図ると答弁しました。



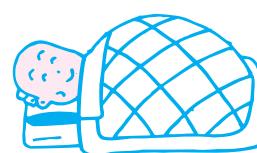
上田さち子議員



減免申請できる収入の目安

収入から国保料、家賃、通勤費などを差し引いた額が、下の金額未満の場合は申請可能

- ・60才代の独り暮らしの方は、**103,300円未満**
- ・40才代で子ども二人の4人家族の場合、**約26万円未満**



盤滝トンネル必要のない、過大な修繕計画はダメ!

上田議員は、盤滝トンネルの無料化と、県が無料化の前に計画しようとしている大規模修繕について、市としての考え方をただしました。

河野市長は「市として、本年度内を目指し、無料化の実施時期を明らかにする」と答弁。修繕については「施設の過大な新設・増強や、設備の過剰な更新・取り換え等が行われないよう、また割高な工事とならないよう適正な対応を県に要請する」としました。

また、はね橋の開閉問題もとりあげ、開閉の必要な船舶の航行がないことや、一方で通行する市民が2倍に増えてきていることから、「開閉中止」を求めました。

住宅リフォーム助成制度実現へ大きく前進



まつお正秀議員

まつお正秀議員は、共産党議員団の公約である経済波及効果抜群の「住宅リフォーム助成制度」について質問。

今回、市は「地域経済の活性化には中小業者の支援が必要」との立場から、新たに策定する第二次産業振興計画（素案）の中に住宅リフォーム助成制度を盛り込んだと答弁しました。この間のわが党の議会内外でのとりくみが、実をむすんだものです。来年度からの5年間の計画中に試行事業として実現する見通しですが、まつお議員は「できるだけ早期に実施を」と重ねて求めました。

平和市長会議加盟の役割果たせ

続いてまつお議員は、昨年河野市長が世界平和市長会議に加盟したことを見て、国連が核廃絶に向けて大きく動き出している中で、それにふさわしい市の取り組みを求めました。また、2013年は西宮市が平和非核都市宣言をして30周年となることから、六湛寺公園を平和公園に位置付け、戦争や被爆の体験を語り継げるような取り組みも求めました。

狭くしません保育室の面積は

市長は来年1月に広島で行われる「国内平和市長会議」に参加し、そこでの議論も踏まえて、今後も平和行政に取り組んでいくと答弁しました。また、戦争を語り継ぐ人たちが少なくなっていく中で、映像で証言を残すことも検討するとの答弁もありました。

国は、保育室の居室面積を、「2歳未満児は1人1.65m²以上、ほふく室3.3m²以上、2歳児以上は1.98m²以上」と最低基準で定めています。厚生労働省は、①保育所待機児童が100人以上、②地価が高い等、一定の条件を満たす地域では、面積基準緩和の特例措置を設け、西宮市も対象とされました。

市議団は、「今でも、すし詰め状態なのに面積基準を緩和すれば、子どもの保育環境がさらに悪化することになり到底認められない」「保育所待機児童は、認可保育所増設で解消すべき」と一貫して追及してきました。

その後、当局は「本市では、入所児童の安全や保育の質を確保することを第一に、面積基準の緩和は行わない」との見解を示しました。